

ビジュアル チェックイン

あなたは今、
どこまで来たか？



(☺)!!

④ やってあげられること増えた!

(☹)

③ やってあげ
分らなくなってきた

(((泣く泣く)))

(((泣く泣く)))

(☺)!

② ちょっとやってみた



? (☹) ① やっていいし
分らない


👏 特に関心したいテーマに **2**ツイルを貼ってください。👏

< 推進準備期フェーズ① >

- ① 首長・上司の説得
▷ ●●●●●●●
- ② 部署横断的な協議の場の設置
▷ ●●●●●●●●●●●●●●●●
- ③ 担当部署の拡充
▷ ●●●
- ④ 支援制度等の整備
▷ ●●●●●●●●●
- ⑤ 条例整備・中間支援確保
▷

< 組織設定期フェーズ② >

- ① 「考える会」設置と現状共有
▷ ●●●●●●●
- ② 「準備会」設置と活動案の検討
▷ ●●●●
- ③ 組織の設立
▷ ●●
- ④ 計画策定・協定締結・計画認定
▷ ●●●●●●●

こちらにも 1枚 貼ってください 

< 業務内容と心構え >

① 1日・1週間・1年のスケジュール



② これまでの担当業務、経歴



③ 仕事で大事にしていること



④ 私の強みと弱み



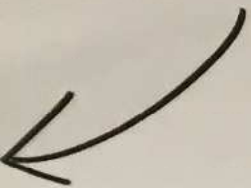
⑤ コミプラ成功の秘訣



もっと聞きたい所に

シールを1枚

貼ってください



模造紙にない箇所の

質問は

ふせんを書いて

こちらへどうぞ

昔からの考えを
変えようという
役員等の説明
など



取締役選任制
の女性役員
割合等

会議等への
女性の参加
割合等



令和元年度 共生・協働推進

かごしま自治体ネットワーク

第3回会議

東西の
日本を代表する
先進事例を聞き、
考えてください！

本日の研修の趣旨

協働のパートナーとしての
コミプラと市役所の
理想の関係を知る、考える

↓
次の一歩をどう踏み出するか
考える

あえてステージ

今日は
このお話を
します

事例を聞くときの
ポイント

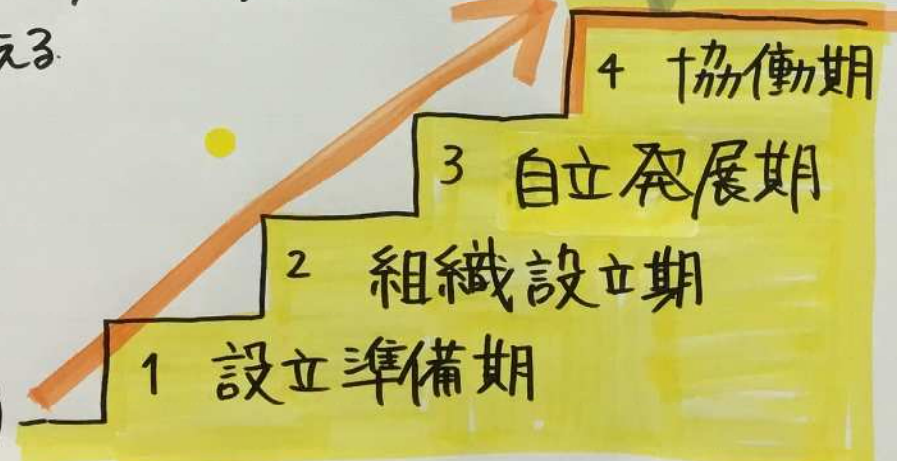


- ① 何を？
- ② どうやって？
- ③ なんで？
- ④ どうなった？
- ⑤ これから？



山浦陽一さん

(一社)コミプラおおいた理事
大分大学准教授



コミプラ発展の4つのフェーズ

宮城県大崎市

大崎市のまちづくり



- H18年に合併した
大規模、多様な地域課題



関わり方を見直す
市民と行政が話し合う
まちづくりを行ってきた。

自治会の課題

会長の高齢化



会費が
集まらない



責任が
なくなる
輪番制

鈴木 輝彦さん

(宮城県大崎市市民協働推進部
まちづくり推進課主幹兼係長)

フェーズ4で大切なものは

負担減のまちづくり



目に見えるものが減ることへの対策より
いかに続くか？無駄なものや複雑なもの？



住民主体

制度を作るのも、審査するのも



基金制で
安定

お金に
振り回され
ない

市民協働
〇〇
推進部



人的支援



制度を作ること
目的ではなく

市民の実践を担保
するために

仕組みを作った

住民の話し合い
の場を作るための
財政支援



教じたい

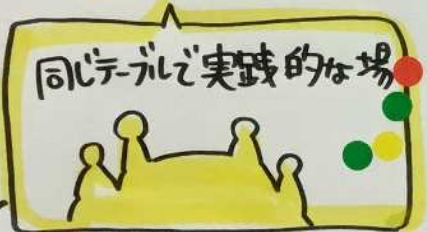




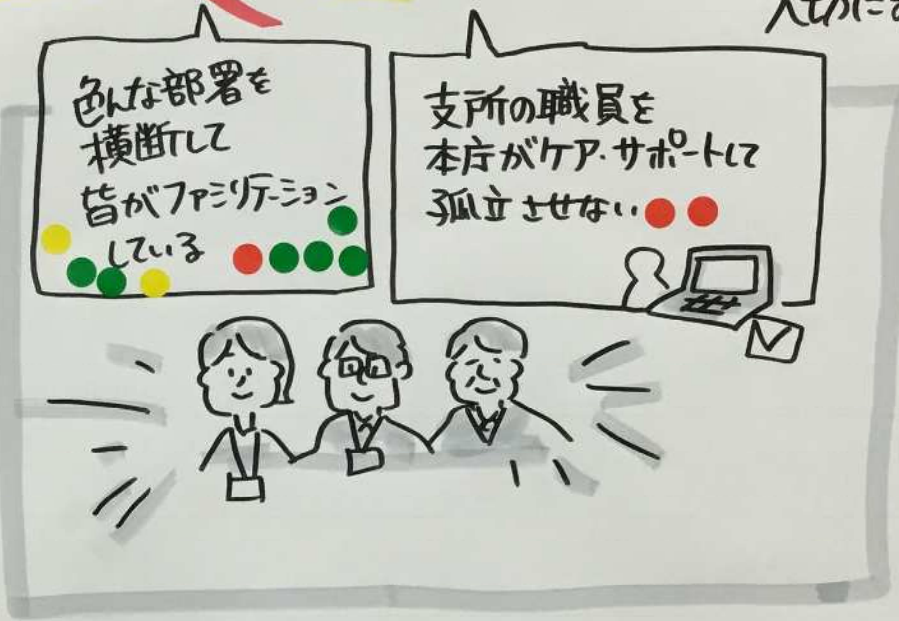
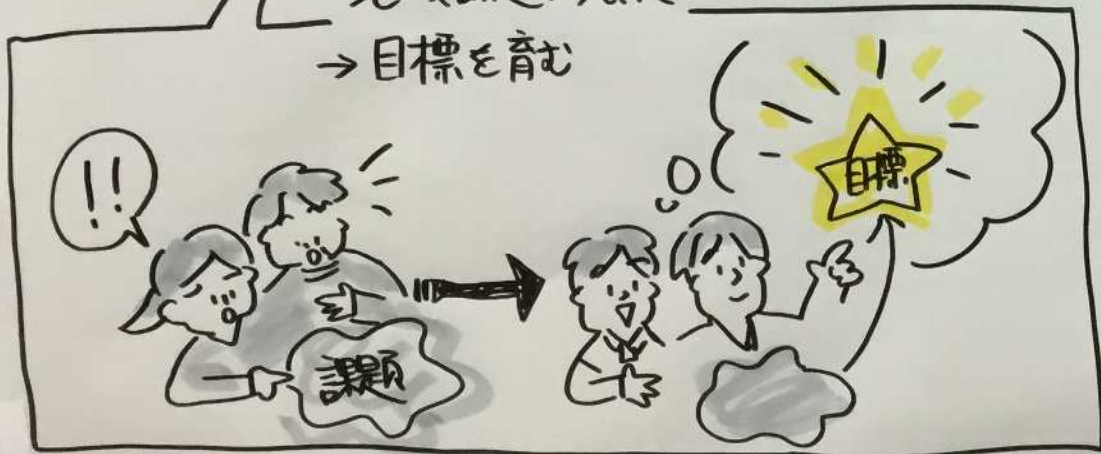
取り組む
中で
大切にしてきた
姿勢

地域自治と市民協働

↑
≠ 市民を動かすこと
→ 環境と場づくり



地域課題に気づき
→ 目標を育む



島根県雲南市

小規模多機能自治

自治
自ら決めて

運営
自ら担う

計画づくり
制度の見直し
拠点の整備
条例づくり



小さな単位も
優先する。

自助
共助
公助



板持 周治 さん
(雲南市役所 政策企画部 地域振興課長)

原点は **カカ働**



自治力アップ



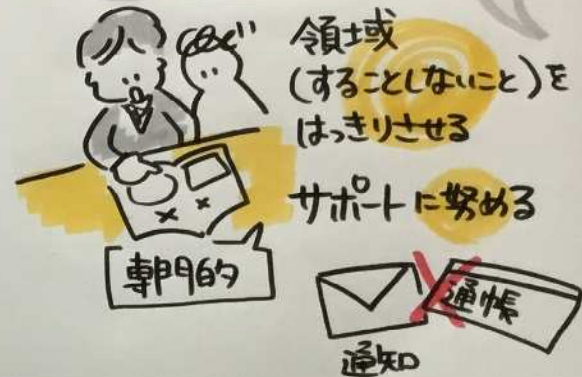
どこでもこの8原則を大切にしています。

- ① 相互理解と相互補完
- ② 対話 ●
- ③ 対等 ●
- ④ 目標・取り組む過程の共有
- ⑤ 自主・自立 ●
- ⑥ 適切な参入機会の確保
- ⑦ 情報公開
- ⑧ 評価

質疑応答

コミュニケーションを密にする
(意識レベルの共有)

Q 支所職員は
どう関わっている？



専門的



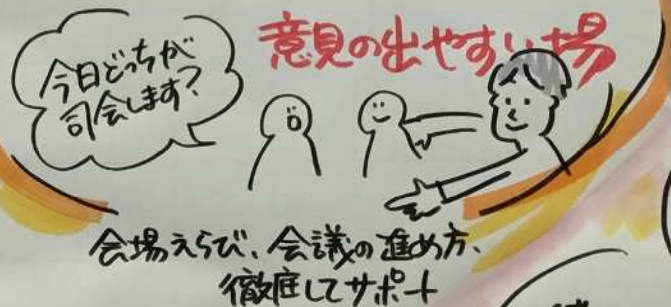
Q 形式的な会議から
実践的な話し合いにした
プロセスを教えてください！



担当職員制

↑この理念(どがあるべき)から
パートナーシップ会議をする

Q 部署を横断した支援
どうやって実現？



仲間をふやす

仕組みづくり + 個別対応

Q 鈴木さんみたいに
長く居るとやりやすい？
苦労されたことは？



Q 条例公民館、
大崎ではそのままなのは
なぜ？

公民館の目的 → 住民福祉の向上

A 市民センターにするより
やりやすい。

何のための
施設か？

が大切

どうし必要か？
1つ1つ積み上げ？
長い間か？
関係性
つくる

(行政の役割との分担)

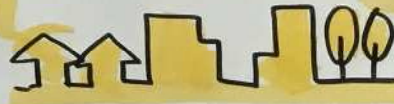
トークセッション (市役所の次の歩)

推進・準備期 (フェーズ1)



組織設立期 (フェーズ2)

地域へ入る第1歩
まずはどこから...?



「考える会」の設置
(説明・対話の場重視)

考える会
考える会

どう巻き込む?

事例を伝える
周りを巻き込む
男女共同
参画の視点
から留意する

キーマンをおさえる
(婦人会長がいると
対立的にならない)

女性が
いると
議論が
活発に

支援制度の整備

今あるものを
活用する
こともできる

相手の
段階に
合わせて



→ 条例である/しない 両方ある

大切なのは

住民の主体性

根拠と
したいのは
分かるけど...

査定

プロセスとして
活用



大切なのは
何のために
するか?



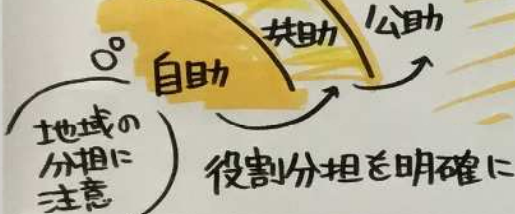
質疑応答②

フェーズ3から4はどういう
仕掛けやサポートが必要か？



振り返る場が必要
(軽めのもの)

目に見える変化が
起きるところから



鹿児島のおいしい所は？
次の秘策って？

郷土愛
(地縁)

地域コーディネーター
の雇用



住民
自治

持続性の確保
(まきみ)

企業 地域
国

トワークセッション (個人の次の一歩)

どういうお仕事の
しかたですか？

組織目標から
個人目標へ

答えは現場にある
現場を職場に
共有

コンプラ成功の秘訣は？

現場に接する
不断の努力

行政の
あり方を
変える



(実施→支援)

支援の際の地域との
バランスはどうしたら？
(すること、しないこと)

決めるのは
地域

現場や周りの
状況を見て
おしたりひいたり
一緒に悩む



時には 協働の原則と
7-70% 3対1の見定め



決まらぬ答えがない領域。
色々な所と協力して
地域にあたり方で一歩ずつ

令和元年度共生・協働推進かごしま自治体ネットワーク

第3回

コミプラ開催は、

なぜ4つのフェーズなの？

1. 設立準備
2. 組織設立
3. 自立発展
4. 協働推進

ココを今日の
考えます



山崎さん

宮城県大崎市

市民と行政が話し合うまちづくり

Q. なぜ今、地域づくり?

○ 多様化・高齢化
○ 地域課題

合併 → 新たな行政との関係性



鈴木さん

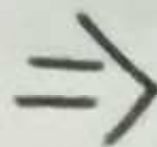
市の職員です!

自治会



若者の未加入

→
会長の高齢化



自治会長、区長の負担減のまちづくり

派手なイベントより 長期WS, 対話

暮らしを支える, 目線は暮らし

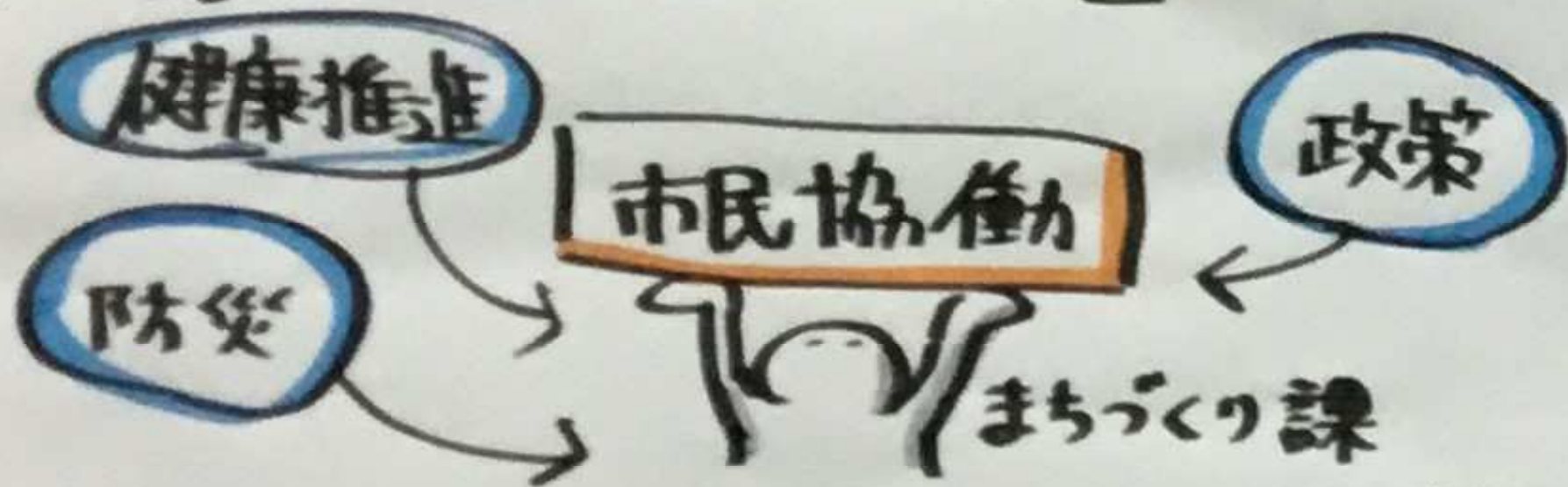
政策アドバイザー

地域自治組織への

人的支援
財政支援

人的支援

① 市民協働推進部の設置



だけであるもの...?

② 大崎市地域自治組織推進本部の設置

③ コミュニティ推進戦略4-4の組織化

財政支援

成功数より話し合、本数

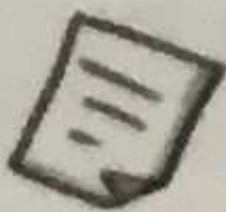


交付金の使い方も

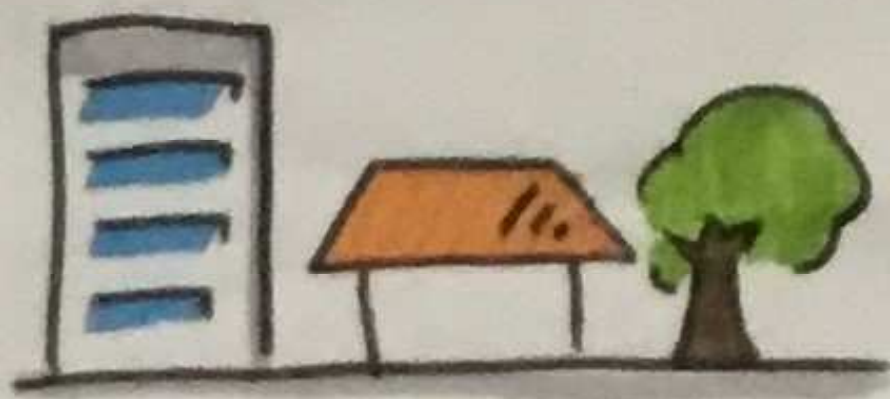
市民と一緒に考える!!

↳ そのうち「お金は少ない」と言われるように...

マニュアル



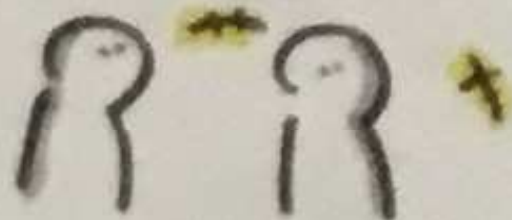
は一切ない!!



市民が主役

まちはみんなで作るもの

市民が自分たちのものにする仕組みづくりが必要



仕組みが制度だけでは

地域は動かない!!

大崎的!

市民協働

行政 と 市民 が話し合う プロセス のこと

↳ 会議 → 話し合いへ

場づくり に力を入れる

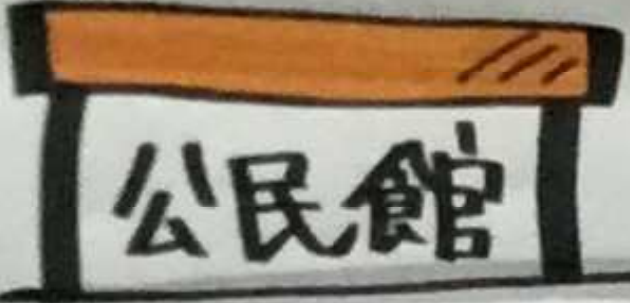
どうすれば
WSに参加
もらえる



「よが、たね。」の一言。


「一緒に考えましょう！」
と課題の共有。

どうあるべきか論 を話し合う —



公民館

の指定管理者制度について

 地域自治組織に
対し

、自治力の向上、

地域住民に
対し
企画立案

何でも屋としての
公民館

WS終了後...



反省会 - 役員を大事にする
若手を巻き込む

どうすればこの場を続けられるか?

鈴木さんは、

毎日職員に電話とメールをする!

↳ 孤立させないチームづくり



協働を進める

△
環境と場づくり

いっしょに
まちを
つくしましょう!

実る

生まれる

育てる

耕す

